

輸血関連急性肺障害を発症した 1 症例

安部伸太郎 杉 恭之 仁田原慶一
重松 研二 香取 清 比嘉 和夫

福岡大学医学部麻酔科学

要旨：輸血関連急性肺障害（transfusion-related acute lung injury：TRALI）は輸血後 6 時間以内に起こる肺障害であり，死亡につながる可能性のある非溶血性輸血副作用である．過去に輸血を受けていた 62 歳の男性の胃切除術中に赤血球濃厚液 4 単位を 2 時間かけて投与し，輸血終了の約 20 分後に TRALI によると考えられる低酸素血症をきたした症例を経験した．発症して 3 時間後に再挿管し，人工呼吸療法を行った．徐々に酸素化は改善し，21 時間後に抜管した．その後の経過は良好であった．

Key words：輸血関連急性肺障害，TRALI，輸血，副作用